



<アイメイク>

アイメイクを美しく仕上げるためにはベースメイクから。まぶたのくすみ・目尻の赤み、目の下のクマなどをファンデーションやコンシーラー、コントロールカラーなどで整えましょう。

目の周りは動きが多い部分なので、化粧品をのせすぎないのが崩れにくくするポイントです。

顔の中でも特に皮膚の薄い部分である瞼は優しく触れましょう。ゴシゴシ、チクチクした刺激はトラブルの元になることも。

瞼の立体に沿うように、凸部分には肌色よりも明るい色、凹部分には凸部分よりも明るさの低い色をのせると、自然な陰影のある目元を演出できます。

アイシャドウブラシは、毛先のある側面を寝かせて、なでるようにして使用するとムラができにくく、美しく仕上がります。アイメイクの仕上げには、アイシャドウブラシの先端部分で色味の境目がないように優しくなじませましょう。

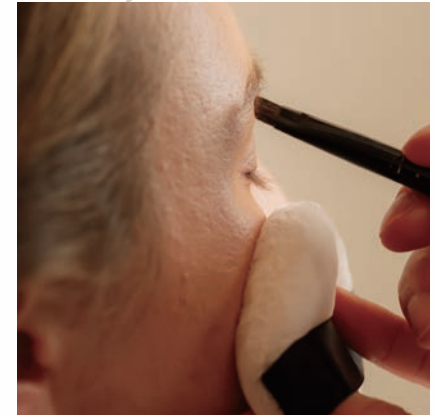
瞼全体は大き目のアイシャドウブラシ、目の際や目の下など狭い範囲には小さ目のアイシャドウブラシなど、範囲に合わせてブラシを選びましょう。



<アイブロー>

アイブローブラシにアイブローベースを少量取り、眉毛の少ない部分を埋めるようにのせます。その後、アイブローパウダーをブラシに取り眉山から眉尻を描き、次に眉山に向かって眉毛中央～眉頭まで毛流れに沿うようになじませます。

仕上げに無色のフェイスパウダーで固定するとメイク崩れしにくくなります。ペンシルやリキッド、ティントや眉毛用のマスカラなどを併用するとより多様な質感表現が可能です。



<お手入れ方法>

メイクアップの後は、筆のお手入れをしていきましょう。使用後はティッシュで穂先をなでるようにやさしく化粧材を落としていきます。

化粧材や油分などで毛先がもたついてきたら洗浄していきます。穂先を水かぬるま湯に浸し、固形石鹸など洗浄剤で手洗いを行います。流水で何度もすすぎ洗いをし、水気を切って陰干しします。

パウダーブラシなど、書筆の大筆くらい径がある筆は、乾くのに時間がかかります。根元からしっかり乾燥させてから使用しましょう。

